

ツツジ属 特性調査マニュアル



(第2版)

令和7年2月14日 改正

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	1	PQ (*) G	葉の持続性	Plant: persistence of leaves	冬季の葉の付着状態（落 葉性）	観察 VG	1 2 3	落葉 半常緑 （半落葉） 常緑	deciduous semi evergreen (deciduous) evergreen		

●調査時期

冬季（2 月中下旬頃）

●調査方法

- 1 落葉 冬季に花芽（つぼみ）と新芽を残して全ての葉が落葉する。（レンゲツツジ、ミツバツツジ等）
 2 半常緑 冬季に花芽（つぼみ）と新芽に数枚の葉を残して落葉する。（ミヤマキリシマやヤマツツジなどで多く見られる。）
 3 常緑 冬季に半常緑より着生葉の数が多く、常に緑色系の葉を携える。（クルメツツジ、サツキ、アザレア、シャクナゲ等）



1 落葉
deciduous



2 半常緑（半落葉）
semi evergreen (deciduous)



3 常緑
evergreen

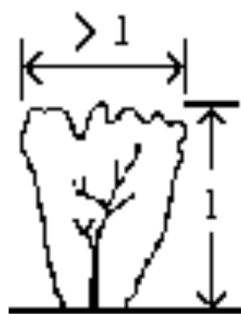
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
2	2	2 P.A 1	PQ (+)	樹姿	Plant: growth habit	開花期の株立ちの仕方	観察 VG	1 2 3	狭叢生 叢生 広叢生	narrow bushy medium bushy broad bushy		

●調査時期
開花盛期

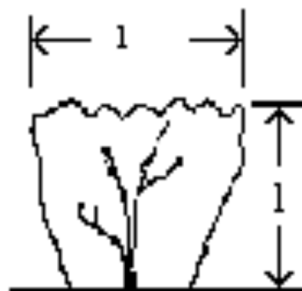
●調査方法

審査基準の特性表の説明の図からは、樹高と株幅の割合が 1:1 以外は「1 狭叢生」又は「3 広叢生」と読み取れるが、試験区の全ての個体が 1:1 になることはないため、以下のとおり整理した。

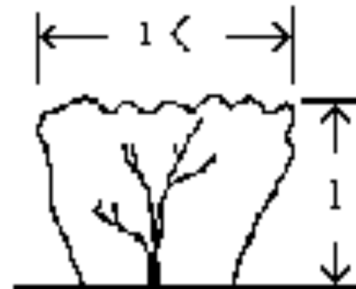
- 1 狭叢生 試験区の 71%以上の個体で明らかに樹高が高い。
- 2 叢生 「狭叢生」と「広叢生」のどちらにも該当しない場合。樹高と株幅でどちらが大きいかわからないような場合も「叢生」。
- 3 広叢生 試験区の 71%以上の個体で明らかに株幅が広い。



1 狭叢生
narrow bushy



2 叢生
medium bushy



3 広叢生
broad bushy

審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
3	3	3	PQ	つぼみの形	Terminal inflorescence bud: shape	冬季（静止期）の頂花芽 の形	観察 VG	3 5 7	狭楕円形 楕円形 広楕円形	narrow elliptic elliptic broad elliptic		

●調査時期

冬季（2月中下旬頃）

●調査方法

冬季（静止期）の頂花芽の形を観察する。



3 狭楕円形
narrow elliptic



5 楕円形
elliptic



7 広楕円形
broad elliptic

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	4	QN	新葉のろう質粉の多少	Young leaf: bloom on upper side	当年枝の新葉が最大に展開した直後の表面のろう質粉の程度	観察 VG	1 3 5 7	無又は極少 少 中 多	absent or very weak weak medium strong		

●調査時期

新葉に関する特性は当年枝新葉の伸展が最大になった直後に行う。

●調査方法

当年枝の新葉が最大に展開した直後の表面のろう質粉の程度を観察する。

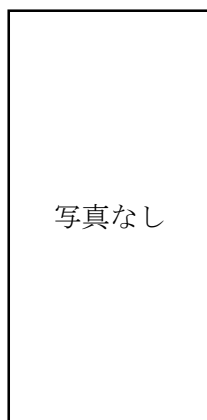
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	PA 2	PQ	新葉の色	Young leaf: color on upper side	新葉の表面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6	黄緑 淡緑 緑 濃緑 赤緑 青緑	yellow green light green medium green dark green red green blue green		

●調査時期

新葉に関する特性は当年枝新葉の伸展が最大になった直後に行う。

●調査方法

当年枝の新葉が最大に展開した直後の新葉の表面の色を観察する。



1 黄緑
yellow green



2 淡緑
light green



3 緑
medium green



4 濃緑
dark green



5 赤緑
reddish green



6 青緑
blue green

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	5	QN	新葉のアントシアニン着色の強弱	Young leaf: anthocyanin coloration on upper side	新葉表面のアントシアニン着色の程度	観察 VG	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong		

●調査時期

新葉に関する特性は当年枝新葉の伸展が最大になった直後に行う。

●調査方法

当年枝の新葉が最大に展開した直後の新葉表面のアントシアニン着色の程度を観察する。



1 無又は極弱
absent or very weak



3 弱
weak



5 中
medium



写真なし

7 強
strong

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	6 P.A 6	PQ (*)	成葉の表面の色	Mature leaf: color on upper side	成葉の表面の葉色	観察 VG	1 2 3 4 5 6	黄緑 淡緑 緑 濃緑 青緑 赤緑	yellow green light green medium green dark green blue green reddish green		

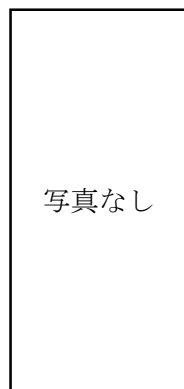
●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

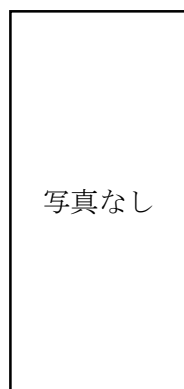
●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。



1 黄緑
yellow green



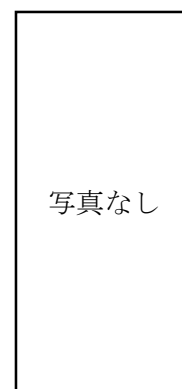
2 淡緑
light green



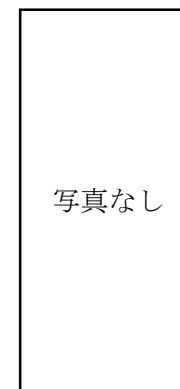
3 緑
medium green



4 濃緑
dark green



5 青緑
blue green



6 赤緑
reddish green

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	7 P.A 7	PQ (*)	成葉の裏面の色	Mature leaf: color on lower side	成葉の裏面の葉色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8	白緑 淡緑 緑 濃緑 青緑 淡褐 赤褐 濃褐	whitish green light green medium green dark green blue green light brown reddish brown dark brown		

●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。
葉の裏面に毛が密生している場合は毛の色を含めて評価する。



2 淡緑
light green



6 淡褐
light brown

「2 淡緑」、「6 淡褐」以外は明確な写真がないため省略する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9		QL	成葉の斑の有無	Mature leaf: variegation	成葉の斑の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下 2 枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下 2 枚には含めない。

調査は、頂花芽下 2 枚目の葉で行うこととなっているが、均一性は全ての葉で評価する。



1 無
absent



9 有
present

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10		PQ	成葉の斑の模様	Mature leaf: type of variegation	成葉の斑の模様	観察 VG	1 2 3	散斑 中斑 覆輪斑	mottled centered margined		

●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下 2 枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下 2 枚には含めない。



1 散斑
mottled



2 中斑
centered



3 覆輪斑
margined

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11		PQ	成葉の斑の色	Mature leaf: color of variegation	成葉の斑の色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下 2 枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下 2 枚には含めない。

斑の色が明確に 2 色以上ある場合は併記するが、移行色は含めない。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	8 P.A 3	QN (*)	成葉の長さ	Mature leaf: length (including petiole)	成葉の長さ（葉柄を含 む。）	測定 mm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		

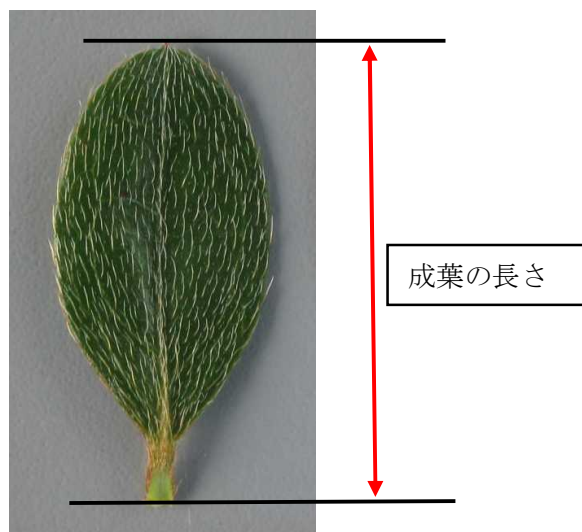
●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下 2 枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下 2 枚には含めない。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	9 P.A 4	QN (*)	成葉の幅	Mature leaf: width	成葉の最大幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		

●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下 2 枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下 2 枚には含めない。

横断面の形に凹凸がある場合は伸ばして測定する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	10 P.A 5	PQ (*) (+)	成葉の形	Mature leaf: shape of blade	成葉の葉身の形	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8	線形 長楕円形 披針形 卵形 楕円形 倒卵形 倒披針形 円形	liner oblong lanceolate ovate elliptic obovate oblanceolate circular		

●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。
成葉の葉身の形を審査基準の図を基に観察評価する。



1 線形
liner

2 長楕円形
oblong

3 披針形
lanceolate

4 卵形
ovate

5 楕円形
elliptic

6 倒卵形
obovate

7 倒披針形
oblanceolate

8 円形
circular

審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	P.A 8	QN	成葉の表面の毛 じの粗密	Mature leaf: hairiness of upper side	成葉の表面の毛じの着生 粗密	観察 VG	1 3 5	無又は粗 中 密	absent or sparse medium dense		

●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下 2 枚目の葉で行う。頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下 2 枚には含めない。

毛じには単毛とフェルト状（星状毛を含む）等があることを踏まえて評価を行う。

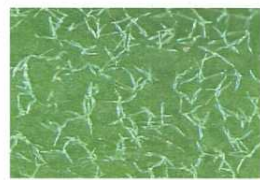
フェルト状の毛は、接触等により取れ易いので留意して調査する。



単毛



フェルト状



星状毛



1 無又は粗
absent or sparse



3 中
medium



5 密
dense

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	11	PQ (+)	成葉の横断面の形	Mature leaf: shape of cross section of blade	成葉中央部の横断面の形	観察 VG	1 3 5 7 9	強く凹 凹 平 凸 強く凸	strongly concave concave straight convex strongly convex		

●調査時期

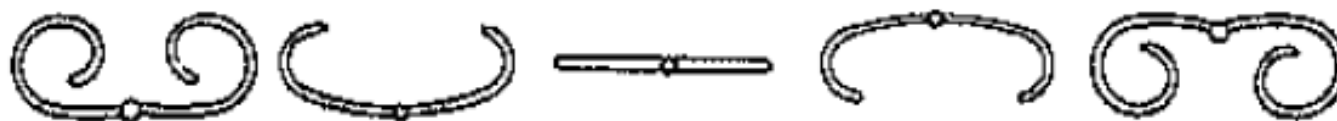
成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。

成葉中央部の横断面の形を審査基準の図を基に観察評価する。



1 強く凹
strongly concave

3 凹
concave

5 平
straight

7 凸
convex

9 強く凸
strongly convex

審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	12	QN	成葉の表面の光沢の強弱	Mature leaf: glossiness of upper side	成葉表面の光沢の程度	観察 VG	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong		

●調査時期

成葉に関する形質は春葉が十分に硬化した時期。

●調査方法

頂花芽下 2 枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下 2 枚には含めない。

フェルト状の毛がある場合は、「1 無又は極弱」と評価する。フェルト状の毛が取れている部分は評価しない。



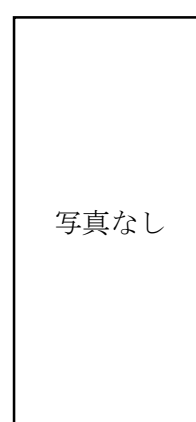
1 無又は極弱
absent or very weak



3 弱
weak



5 中
medium



7 強
strong



フェルト状の毛が残っている部分で評価する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18	18	13 P.A 9	QN (*)	一花序当たりの 着花数	Inflorescence: number of flowers	一花序当たりの着花数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
つぼみの中に複数の花序が含まれる品種もあるので、その中の一花序の花の数を測定する。
太い徒長枝のつぼみは花数が多くなる傾向があるため、極端に太い徒長枝での調査は避ける。

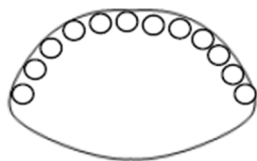
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	14	PQ (+)	花序の形（一花 序当たりの着花 数が6以上の品 種に限る。）	<u>Varieties with more than 6 flowers per inflorescence only:</u> Inflorescence: shape	側面から見た花序の形	観察 VG	1 2 3 4	扁平 半球 球 円錐	flat dome ball conical		

●調査時期
開花盛期。

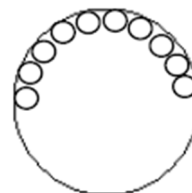
●調査方法
側面から見た花序の形を観察する。



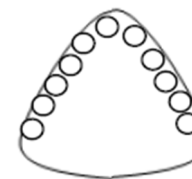
1 扁平
flat



2 半球
dome



3 球
ball



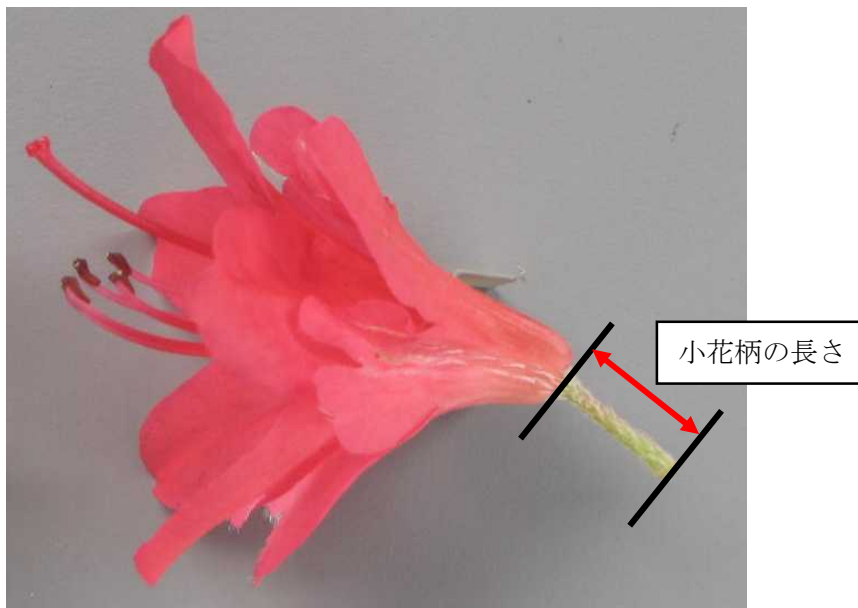
4 円錐
conical

審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	15 P.A 10	QN	小花柄の長さ	Pedicel: length	小花柄の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		

●調査時期
開花盛期。

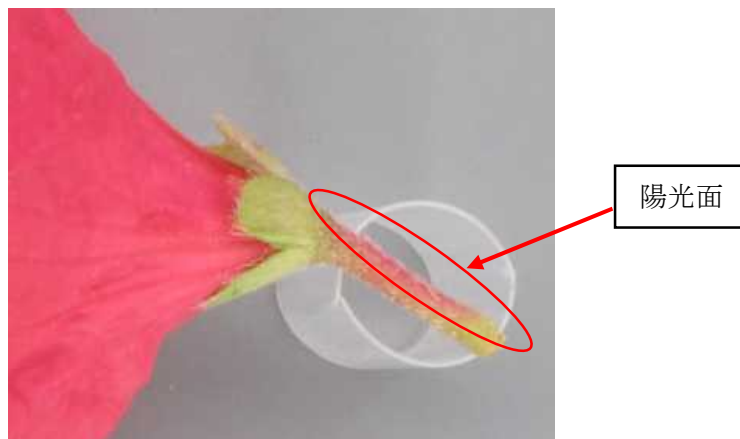
●調査方法
開花した花の小花柄の長さを測定する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	16	PQ	小花柄の色	Pedichel: color on sunny side	小花柄の陽光面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7	黄緑 淡緑 濃緑 赤緑 銅色 赤 紫	yellow green light green dark green red green bronze red purple		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
開花した花の小花柄全体の色ではなく、陽光面を観察する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22	17 P.A 11	QL (*)	がくの有無	Calyx: presence	がくの有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
開花した花のがくの有無を観察する。
花型のホース イン ホースは、がく片が花弁化したものであり、がくは「無」となる。



1 無
absent

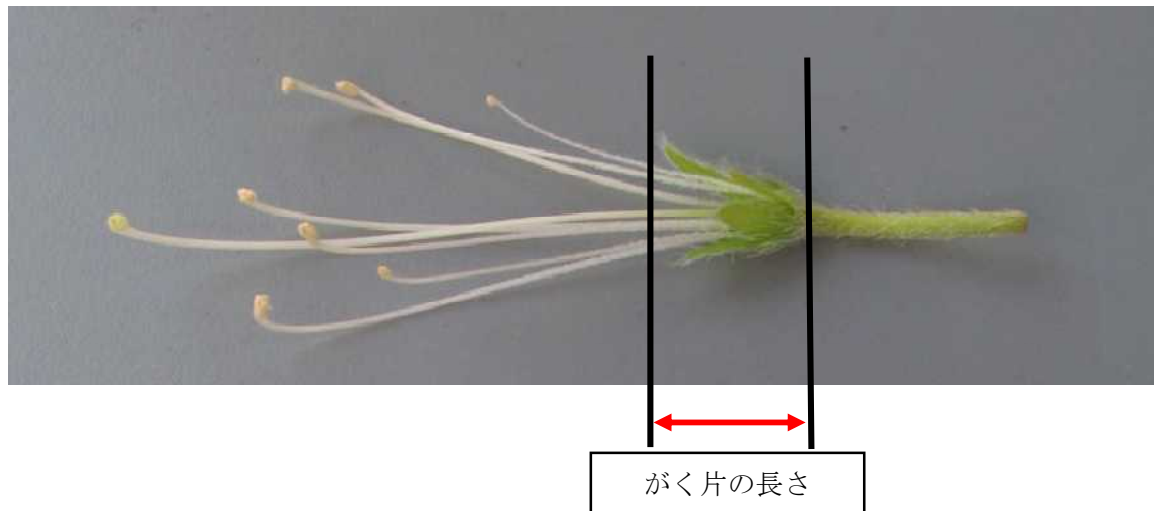


2 有
present

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23	18	QN	がく片の長さ	Calyx lobes: length	最長がく片の長さ	測定 mm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
開花した花の最長のがく片の長さを伸ばして測定する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24 25	24	19 P.A 14	PQ (*) (+) G	花の形	Flower: shape	側面から見た花の形	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	広い漏斗形 開いた漏斗形 漏斗形 突き出た漏斗形 筒状漏斗形 開いた漏斗鐘形 広い漏斗鐘形 開いた鐘形 鐘形 斜鐘型 突き出た鐘型 筒状鐘形 回転鐘形 筒形 受け皿形	wide funnel-shaped open funnel-shaped funnel-shaped ventricose-funnel-shaped tubular funnel-shaped open funnel-campanulate wide funnel-campanulate openly campanulate campanulate oblique campanulate ventricose-campanulate tubular campanulate rotate campanulate tubular saucer shaped		

●調査時期

開花盛期。

●調査方法

開花した花の側面から見た花の形を審査基準の図を基に観察評価する。

【評価のポイント】

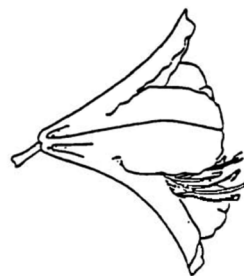
1：花冠の基部に少し直線状の部分があり、そこから大きく広がる。2：花冠基部はほぼ直線状（又はわずかに凹）であるが、変曲点があり、そこから先端にかけて広がる。3：明確な変曲点がなく、花冠基部から先端にかけてほぼ直線状（又はわずかに凹）に広がる。4：花冠の上側は凸状に膨らんだカーブになる。下側はほぼ直線状又はやや凹。5：花冠基部がほとんど広がらず筒状になる。6：花冠基部は直線状に広がる。先端側は凸状に膨らんだ形で広がる。7：花冠基部は少し凸状に膨らんだ形で広がる。そこから先端にかけてはほぼ直線状に広がる。8：花冠の基部に丸く膨らんだ部分があり、そこから大きく広がる。9：花冠の基部側に丸く膨らんだ部分がある。典型的な鐘形のもの。10：鐘形だが、花冠の片側が直線状（又はわずかに凹状）、もう片方が凸状で、非対称になるもの。11：鐘形だが、花冠の片側のみが明確に凸状に膨らんだカーブになる。12：鐘形だが、花冠先端部の広がり小さい。13：花冠の基部に筒部がほとんどなく、最初から大きく広がり車輪状になる。14：筒状で花冠先端がほとんど広がらない。15：13よりも花冠基部側が丸くなり皿状に見えるもの。



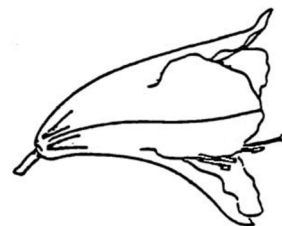
1 広い漏斗形
wide funnel-shaped



2 開いた漏斗形
open funnel-shaped



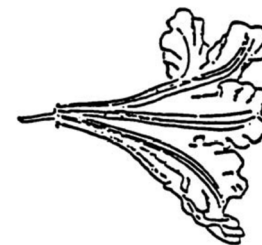
3 漏斗形
funnel-shaped



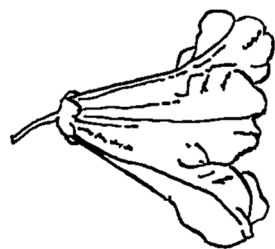
4 突き出た漏斗形
ventricose-funnel-shaped



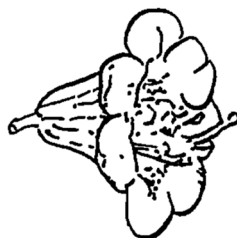
5 筒状漏斗形
tubular funnel-shaped



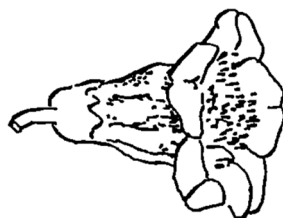
6 開いた漏斗鐘形
open funnel-campanulate



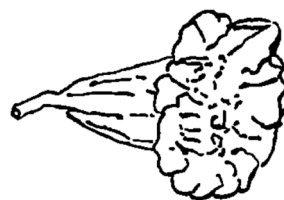
7 広い漏斗鐘形
wide funnel-campanulate



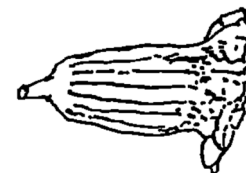
8 開いた鐘形
openly campanulate



9 鐘形
campanulate



10 斜鐘型
oblique campanulate



11 突き出た鐘型
ventricose-campanulate



12 筒状鐘形
tubular campanulate



13 回転鐘形
rotate campanulate



14 筒形
tubular

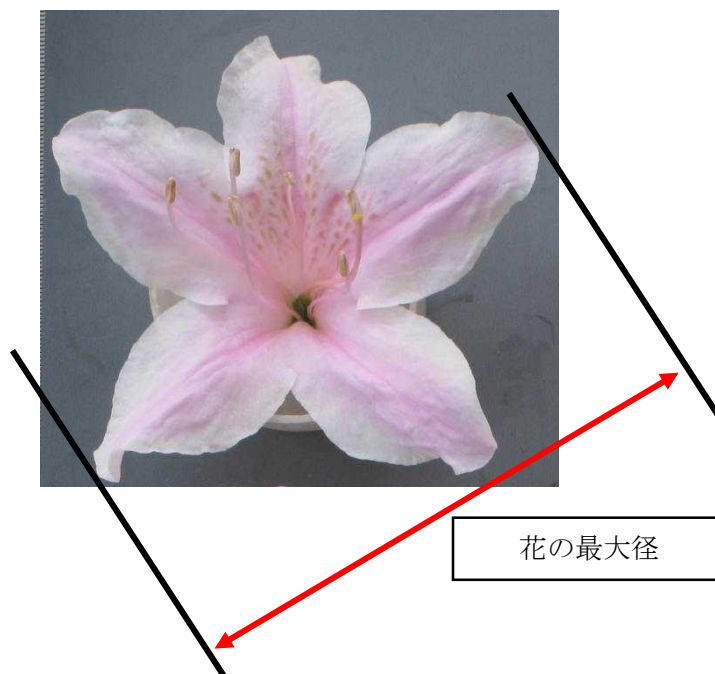


15 受け皿形
saucer shaped

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	25	20 P.A 12	QN (*) G	花の直径	Flower: diameter	花の最大径	測定 MS cm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
開花した花の自然な状態で花の最大径を測定する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	26	21 P.A 15	QN	花の香りの強弱	Flower: fragrance	花の香りの程度	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	オオムラサキ R.Fortunei R.arborescans	

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
開花した花（開やく後）に近づいた時の香りの程度を評価する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	27	22 P.A 13	PQ (*) (+)	花型	Flower: type	花の咲き型	観察 VG	1 2 3 4 5 6	一重 半八重 八重 シングル ホース イン ホース セミダブル ホース イン ホース ダブル ホース イン ホース	single semi-double double single hose-in hose semi-double hose-in hose double hose-in hose		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法

完全展開した花の咲き型を観察する。

一重：がく片、雄ずい、雌ずいがいずれも花弁化していないものをいう。

半八重：雄ずいの一部が完全に又は不完全に花弁化しているものをいう。

八重：すべての雄ずいが完全に花弁化しているものをいう。雌ずいが花弁化する場合もある。

シングル ホース イン ホース：がく片が花弁化し、花冠が二段になったように見えるものをいう。

セミダブル ホース イン ホース：がく片が花弁化し、花冠が二段になったように見え、雄ずいの一部が完全に又は不完全に花弁化しているものをいう。

ダブル ホース イン ホース：がく片と雄ずいがすべて花弁化しているものをいう。

※ホース イン ホースとは

花弁化したがくと花冠裂片の色が同色で、同程度の長さに伸長しているものをいう。



1 一重
single



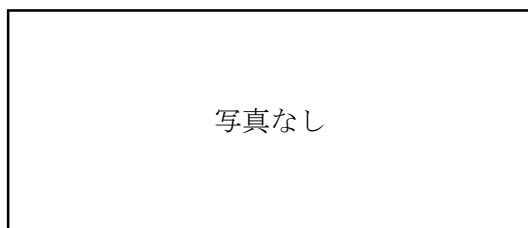
2 半八重
semi-double



3 八重
double



4 シングル ホース イン ホース
single hose-in hose



5 セミダブル ホース イン ホース
semi-double hose-in hose



6 ダブル ホース イン ホース
double hose-in hose

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	28	23	QN	花冠裂片の数 (八重品種に限る。)	Varieties with double corolla only: Flower: number of petals	八重咲き品種の花弁の枚数 (花弁化した雄ずい又は雌ずいを含む。)	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
八重咲き品種の花弁の枚数（花弁化した雄ずい又は雌ずいを含む）を数える。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	29	24 P.A 21	QN (*)	花冠裂片の周縁部の波打ちの強弱	Corolla lobes: undulation of margin	花冠裂片の周縁部の波打ちの程度	観察 VG	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
花冠裂片の周縁部の波打ちの程度を観察する。



1 無又は極弱
absent or very weak



3 弱
weak



5 中
medium



7 強
strong

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	30	P.A 16	QL (*) G	花冠裂片の表面 の色数	Corolla lobe: number of colors on upper side (excluding markings of the throat)	花冠裂片の表面の色数 (花喉部の斑点の色を除く。)	観 察 VG	1 2	1 2	one two		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
花冠裂片の表面の色数（花喉部の斑点の色を除く）を観察する。



1 1
one

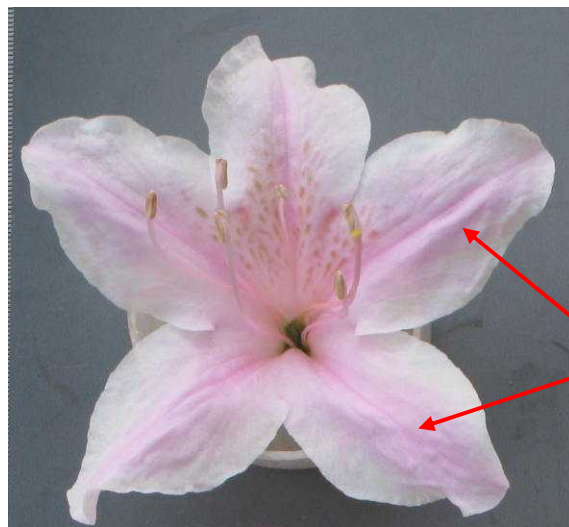


2 2
two

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	31		PQ (*) G	花冠裂片の表面 の主な色	Corolla lobe: main color on upper side	花冠裂片の表面の主な色	観察 VG		RHS カラーチ ャート色票番号 による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
花冠裂片の表面の主な色を観察する。
最大面積の色を主な色とする。主な色と二次色が同じ面積である場合は、濃い色を主な色とする。

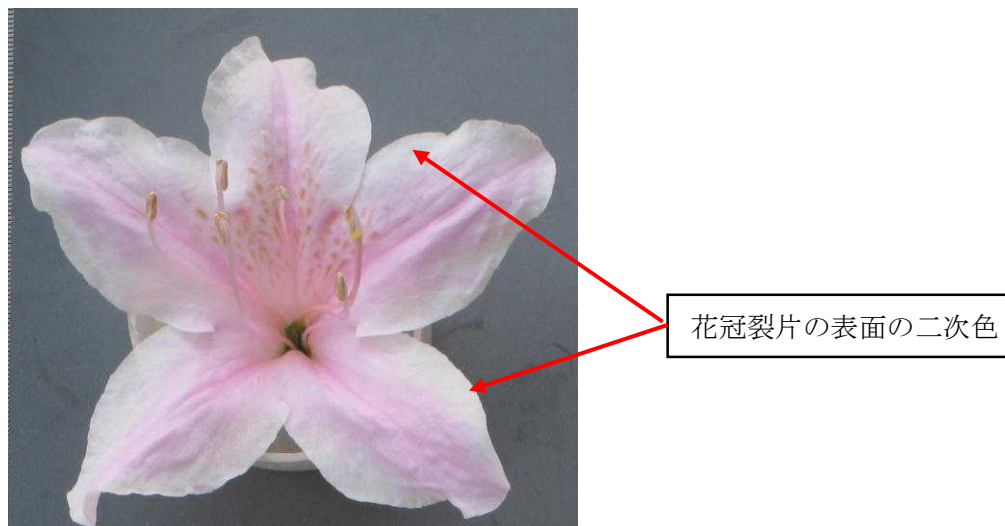


花冠裂片の表面の主な色

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	32		PQ (*) G	花冠裂片の表面 の二次色	Corolla lobe: secondary color on upper side	花冠裂片の表面の二次色 (花喉部の斑点の色を除く。)	観 察 VG		RHS カラーチ ャート色票番号 による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期
開花盛期。

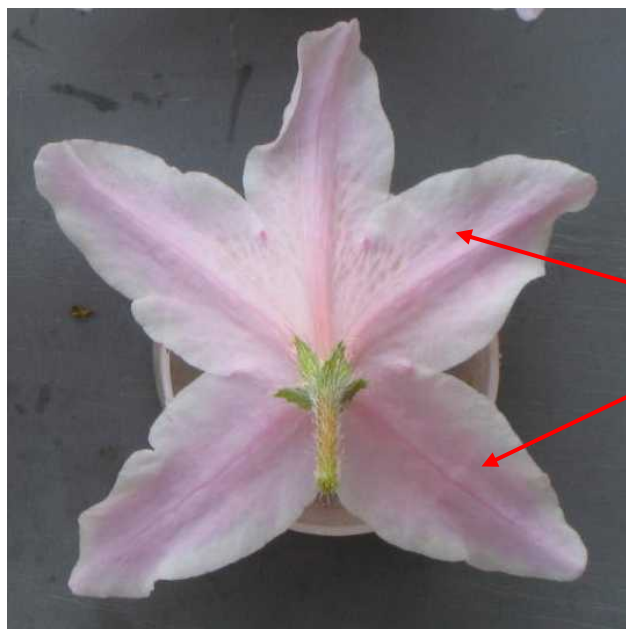
●調査方法
花冠裂片の表面の二次色（花喉部の斑点の色を除く）を観察する。
最大面積の色を主な色とする。主な色と二次色が同じ面積である場合は、淡い色を二次色とする。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	33		PQ	花冠裂片の裏面の主な色	Corolla lobe: main color on lower side	花冠裂片の裏面の主な色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
花冠裂片の裏面の主な色を観察する。
最大面積の色を主な色とする。主な色と二次色が同じ面積である場合は、濃い色を主な色とする。



花冠裂片の裏面の主な色

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
35	34		PQ	花冠裂片の表面 の二次色の分布	Corolla lobe: distribution of secondary color on upper side	花冠裂片の表面の二次色 の分布（花喉部の斑点の 色を除く。）	観察 VG	1 2 3 4 5	基部 先端部 縁部 部分又は縞 斑点	at base at apex at marginal as segments or stripes as apeckles		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
花冠裂片の表面の二次色の分布を観察する。
最大面積の色を主な色とする。主な色と二次色が同じ面積である場合は、淡い色を二次色とする。



1 基部
at base



2 先端部
at apex



3 縁部
at marginal



4 部分又は縞
as segments or
stripes



5 斑点
as apeckles

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	35	28 P.A 22	QN (*) G	花冠裂片の花喉部の斑点の明瞭度	Corolla lobe: conspicuousness of markings of the throat	花冠裂片の花喉部の斑点の明瞭さの程度	観察 VG	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
花冠裂片の花喉部の斑点の明瞭さの程度を観察する。



1 無又は極弱
absent or very weak



3 弱
weak



5 中
medium



7 強
strong

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	36	29 P.A 23	PQ (*) (+) G	花冠裂片の花喉 部の斑点の型	Corolla lobe: type of markings	花冠裂片の花喉部の斑点 のタイプ	観察 VG	1 2 3 4	独立したスポッ ト スポットの集合 スポットで囲ま れたブロッチ 1ブロッチのみ	spots not touching each other spots touching each other blotches surrounded by spots one blotch only		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
花冠裂片の花喉部の斑点のタイプを観察する。



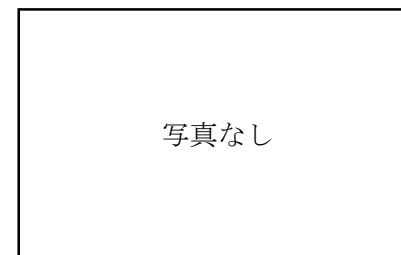
1 独立したスポット
spots not touching
each other



2 スポットの集合
spots touching each
other



3 スポットで囲ま
れたブロッチ
blotches surrounded
by spots



4 1ブロッチのみ
one blotch only

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	37	30 P.A 24	PQ	花冠裂片の花喉部の斑点の色	Corolla lobe: color of markings	花冠裂片の花喉部の斑点の色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
花冠裂片の花喉部の斑点の色を観察する。
複色がある場合は、主な色とその次に目立つ色を併記する。同程度の割合であれば濃色を主な色として併記する。



複色があるケース

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	38	P.A 25	PQ (*)	花冠裂片の花喉部の色の濃淡	Flower throat: color compared to inner side of corolla lobe (excluding markings)	花冠裂片の表面の色に対する花喉部の色の濃淡（斑点の色を除く。）	観察 VG	1 2 3	淡 同色 濃	lighter same color darker		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
花冠裂片の表面の色に対する花喉部の色の濃淡（斑点の色を除く）を観察する。



1 淡
lighter



2 同色
same color



写真なし

3 濃
darker

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
40	39	31 P.A 26	PQ	やくの色	Anthers: color	開やく前のやくの主な色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8	白 黄 緑 赤 茶 紫 堇 黒	white yellow green red brown purple violet black		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
開やく前のやくの主な色を観察する。



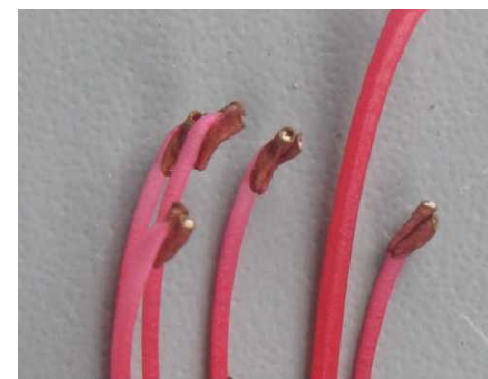
1 白
white



2 黄
yellow



3 緑
green



4 赤
red



5 茶
brown



6 紫
purple



7 堇
violet

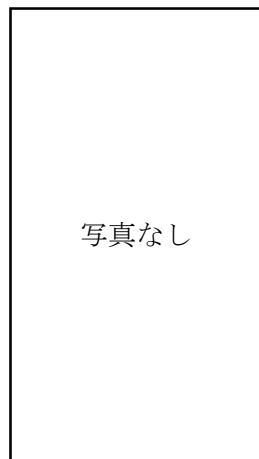


8 黒
black

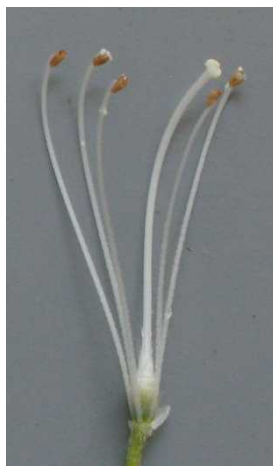
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
41	40	32	QN	雌ずいの長さ	Pistil: length in comparison with stamens	雄ずいの長さに対する雌ずいの長さの長短	観察 VG	3 5 7	短 同等 長	shorter equal longer		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
最長雄ずいに対する雌ずいの長さを観察する。



3 短
shorter



5 同等
equal



7 長
longer



9 極長
very longer

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
42	41	33	PQ	柱頭の色	Pistil: color of stigma	柱頭の主な色	観察 VG	1 2 3 4 5 6	白 黄 緑 赤 紫 茶	white yellow green red purple brown		

●調査時期
開花盛期。

●調査方法
柱頭の主な色を観察する。
開やく後には柱頭に花粉が付着するので、開やく前に調査することが望ましい。



1 白
white



2 黄
yellow



3 緑
green



4 赤
red



5 紫
purple



6 茶
brown

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
43	42	34 P.A 27	QN (*) (+) G	開花始期	Time of beginning of flowering	開花を始める時期の早晩	測定 月 日	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	ゲンカイツツジ クルメツツジ サツキ	

●調査時期
開花始期。

●調査方法
供試個体の半数以上で少なくとも 1 花が完全に展開又は開やくした日。
アザレア系の品種には春と秋冬の 2 回開花するものもあるが、調査に支障がない限り春期の開花で調査を行う。

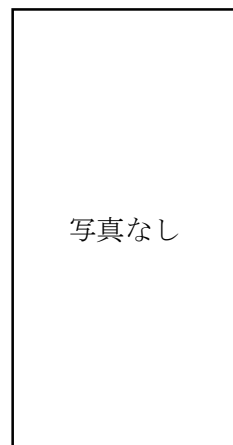
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	43		PQ (*)	成葉（秋葉）の 表面の色（常緑 品種に限る。）	<u>Evergreen varieties</u> <u>only</u> : Mature leaf (autumn leaf): color of upper side	成葉（秋葉）の表面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6	黄緑 淡緑 緑 濃緑 青緑 赤緑	yellow green light green medium green dark green blue green reddish green		

●調査時期

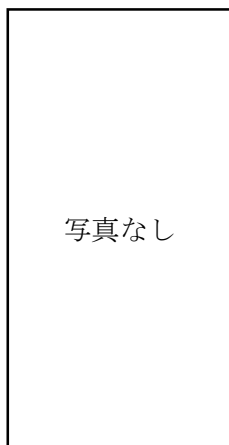
秋葉が十分に硬化した時期（常緑の品種に限る）。

●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。



1 黄緑
yellow green



2 淡緑
light green



3 緑
medium green



4 濃緑
dark green



5 青緑
blue green



6 赤緑
reddish green

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
45	44		PQ (*)	成葉（秋葉）の裏面の色（常緑品種に限る。）	<u>Evergreen varieties</u> only: Mature leaf (autumn leaf): color of lower side	成葉（秋葉）の裏面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8	白緑 淡緑 緑 濃緑 青緑 淡褐 赤褐 濃褐	whitish green light green medium green dark green blue green light brown reddish brown dark brown		

●調査時期

秋葉が十分に硬化した時期（常緑の品種に限る）。

●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。



2 淡緑
light green



6 淡褐
light brown

「2 淡緑」、「6 淡褐」以外は明確な写真がないため省略する。

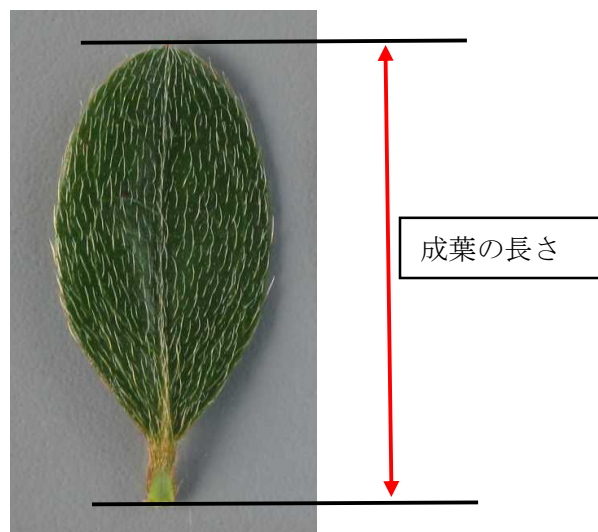
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	45		QN (*)	成葉（秋葉）の長さ（常緑品種に限る。）	<u>Evergreen varieties only</u> : Mature leaf (autumn leaf): length (including petiole)	成葉（秋葉）の長さ（葉柄を含む。）	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		

●調査時期

秋葉が十分に硬化した時期（常緑の品種に限る）。

●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。
徒長枝の成葉（秋葉）は通常より大きくなる傾向があるので、調査を避ける。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
47	46		QN (*)	成葉（秋葉）の幅（常緑品種に限る。）	<u>Evergreen varieties</u> <u>only</u> : Mature leaf (autumn leaf): width	成葉（秋葉）の最大幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		

●調査時期

秋葉が十分に硬化した時期（常緑の品種に限る）。

●調査方法

頂花芽下 2 枚目の葉で行う。頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下 2 枚には含めない。

徒長枝の成葉（秋葉）は通常より大きくなる傾向があるので、調査を避ける。

横断面の形に凹凸がある場合は伸ばして測定する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	47		PQ (*) (+)	成葉（秋葉）の形（常緑品種に限る。）	<u>Evergreen varieties</u> only: Mature leaf (autumn leaf): shape of blade	成葉（秋葉）の葉身の全体の形	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8	線形 長楕円形 披針形 卵形 楕円形 倒卵形 倒披針形 円形	liner oblong lanceolate ovate elliptic obovate oblanceolate circular		

●調査時期

秋葉が十分に硬化した時期（常緑の品種に限る）。

●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。成葉の葉身の形を、審査基準の図を基に観察評価する。



1 線形
liner

2 長楕円形
oblong

3 披針形
lanceolate

4 卵形
ovate

5 楕円形
elliptic

6 倒卵形
obovate

7 倒披針形
oblanceolate

8 円形
circular

審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
49	48		QN	成葉（秋葉）の表面の毛じの粗密（常緑品種に限る。）	<u>Evergreen varieties only</u> : Mature leaf (autumn leaf): hairiness of upper side	成葉（秋葉）の表面の毛じの着生程度	観察 VG	1 3 5	無又は極粗 中 密	absent or very sparse medium dense		

●調査時期

秋葉が十分に硬化した時期（常緑の品種に限る）。

●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。



1 無又は粗
absent or sparse



3 中
medium



5 密
dense

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
50	49		PQ (+)	成葉（秋葉）の 横断面の形（常 緑品種に限 る。）	<u>Evergreen varieties</u> <u>only</u> : Mature leaf (autumn leaf): shape of cross section of blade	成葉（秋葉）の中央部の 横断面の形	観察 VG	1 3 5 7 9	強く凹 凹 平 凸 強く凸	strongly concave concave straight convex strongly convex		

●調査時期

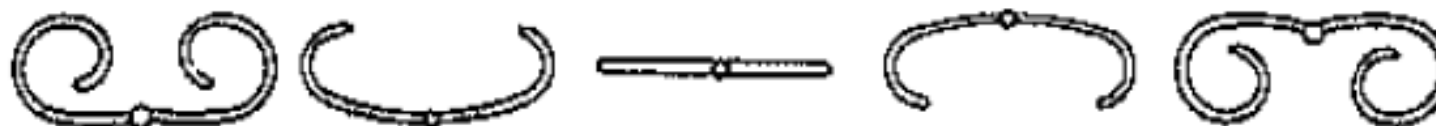
秋葉が十分に硬化した時期（常緑の品種に限る）。

●調査方法

頂花芽下 2 枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下 2 枚には含めない。

成葉（秋葉）の中央部の横断面の形を審査基準の図を基に観察評価する。



1 強く凹
strongly concave

3 凹
concave

5 平
straight

7 凸
convex

9 強く凸
strongly convex

審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	50		QN	成葉（秋葉）の表面の光沢の強弱（常緑品種に限る。）	<u>Evergreen varieties</u> <u>only</u> : Mature leaf (autumn leaf): glossiness of upper side	成葉（秋葉）の表面の光沢の程度	観察 VG	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong		

●調査時期

秋葉が十分に硬化した時期（常緑の品種に限る）。

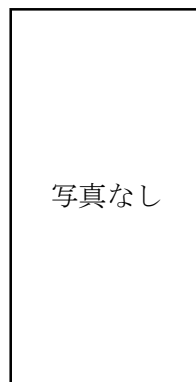
●調査方法

頂花芽下2枚目の葉で行う。

頂花芽基部に数枚の極端に小さい葉又は苞葉が着生している場合があるが、頂花芽下2枚には含めない。



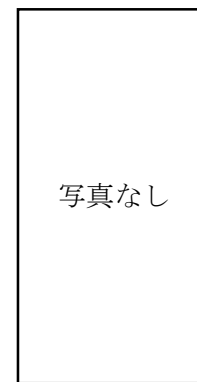
1 無又は極弱
absent or very weak



3 弱
weak



5 中
medium



7 強
strong